

**全日遊連 定例記者会見**  
**ECO遊技機実機見聞。完成度は高いが、**  
**肝心な部分明らかにされず不満**  
**依存症対策のRSNポスター、88%のホールで掲示**

全日遊連は7月25日、全国理事会後の定例記者会見を東京・新橋の第一ホテル東京において開催した。

概要は以下の通り。

決議事項では、第1号議案

参与の補充承認について、小田精一氏（東京都 副理事長）、中村博之氏（千葉県 副理事長）、松井品之助氏（大阪府 副理事長）の3案を承認した。第2号議案では、新理事・新参与等の

所属委員会について、その構成案について原案通り承認した。ちなみに、各委員会の担当副理事長、委員長、副委員長は以下の通り。（敬称略）

総務委員会・大野春光（岐阜）、白河鐘一（京都）、金在哲（大阪）／経営委員会・平川容志（大阪）、森孝輝（佐賀）、久岡征司（徳島）／事業委員会・西川明寛（鹿児島）、岩下博明（熊本）、江川明裕（神奈川県）／機械対策委員会・阿部泰久（東京）、伊坂重憲（神奈川県）、竹田隆（宮城）、玉川昌範（石川）／財務委員会・

梁川康成（山口）、佐藤孔一（新潟）、松尾道彦（長崎）／遊技システム特別委員会・平川容志、山田茂則（埼玉）、金本正浩（福岡）／暴力団対策特別委員会・無、吉原丈司（一）、松田洋（東京）

第3号議案は、平成26年度第24回全国パチンコ・パチスロファン感謝デーの実施について、11月14日～16日、内容については、10月開催の事業委において、第一次選考を行うとしている。

報告事項では主なものとして、特定非営利法人リカバリーサポートネットワーク（略称：RS



記者会見に臨む青松理事長と大野副理事長

玉川昌範（石川）／財務委員会、梁川康成（山口）、佐藤孔一（新潟）、松尾道彦（長崎）／遊技システム特別委員会・平川容志、山田茂則（埼玉）、金本正浩（福岡）／暴力団対策特別委員会・無、吉原丈司（一）、松田洋（東京）

第3号議案は、平成26年度第24回全国パチンコ・パチスロファン感謝デーの実施について、11月14日～16日、内容については、10月開催の事業委において、第一次選考を行うとしている。

報告事項では主なものとして、特定非営利法人リカバリーサポートネットワーク（略称：RS

沖繩・西村直之代表）の告知ポスターの店内掲示状況に関する調査結果が発表された。この調査結果は、傘下件遊協を通じて加盟ホールから直接回答を求めたもの。

回答を得た約8300店舗（回答率75・4%）のうち「掲示している」と回答した店舗は88・3%の約7400店舗で、掲示場所としては、6割以上が「店舗内トイレ」としている。

この結果について西事務局長は、「トイレへの掲示は全日遊連でも以前から推奨していた」ことに加え、「人目を気にせず済む」からだろうとの見方を示した。掲示枚数としては2枚掲示が最も多く、男子用、女子用それぞれ1枚ずつはっている」と推測されるとした。

今回の調査で「掲示していない」と答えた11・7%、約900店舗のうち、約6割から「今後掲示する予定がある」と答えている。

前日開催された全日遊連の全国理事会において、ECO遊技機の試作機について報告があったことを受けて、記者から印象等について質問がなされた。以下は、大野春光副理事長の発言の概要である。

「いちユーザー目線で言えば、良くも悪くも完成度は高いと感じた」として、〇何が変わったのかわからないほど、今での遊

技機と変わらない。〇玉は、従来と同じ銅球。〇呼び出しランプの機能まで操作板のところにあり、座ったまま始動の操作が可能で、遊技盤、操作パネル、ユニットは有線LAN端子で繋がれて、裏側は実にシンプルで、遊技盤の取り外しも数秒なので今後入替がかなり簡単になると、感じたという。

玉の発射も何の違和感もなかったもので、ホールに導入されたのも、ユーザーには現行遊技機と変わらずに受け入れられると推測されるが、業界の間、ホール経営者、オペレーションの立場としては、〇どこがECO遊技機なのかかわからない。〇玉発射機能が変わったことで遊技盤が広く使えるのかどうか。〇ゴト対策の強化ということだが、実際にはまるで目に見えない。〇遊技盤のゲーム性がどうか。〇コスト面の負担がどの程度になるか

こうした肝心な部分が明らかになっただけで、勉強にはなっただけで、どう不謳歌してよいかわからないというのが、正直なところである、と述べた。

併せて大野副理事長は、ECO遊技機は、法改正が必要な遊技機であり、現在取り組んでいるファンの呼び戻し等の施策とは別途に、遊技機に詳しいチームを編成して、対応に努めていきたい、と語った。